

情シスだけでなく、組織全体の課題を解決  
情シスの業務効率を改善する  
社内SEをアウトソースするためのポイント



# はじめに

## 業務が増え続ける情報システム部門

テレワークの普及や企業のDX推進によって、多くの企業ではクラウド化、デジタルツールの導入が進んでいます。組織のIT管理を担う情報システム部門の業務負担も増加、リソース不足や人材教育といった課題が顕在化しています。

情シスの業務は非常に専門性が高く、知識や長年の経験が求められます。なかなかそういった人材は採用できず、教育も難しいのが現実です。近年では、情シス部門の役割を担う社内SEをアウトソースするという選択肢が生まれてきています。

# INDEX

はじめに	1	第3章 テクバンの社内SEサービス	
業務が増え続ける情報システム部門		高い専門性とスキルを要する人材を派遣できる	15
<b>第1章 人材難の情シスを救う社内SEとは</b>		情シス業務のまるごと依頼も対応	16
1. 情シスの悩みは「人材不足」	4	柔軟性が高いメニュー設定	17
2. IT人材を自社で採用することはリスクが高い	5	社内にノウハウを残す情報共有の徹底	18
3. 情シスの救世主 社内SEとは？	6	<b>おわりに</b>	19
4. 社内SEをアウトソースするメリット	7	テクバンの社内SEが情シス部を柔軟に支援いたします	
<b>第2章 社内SEをアウトソースする際のポイントとは？</b>		<b>企業情報</b>	
1. 社内業務を把握し、依頼する内容を洗い出す	9		
2. 今までできていなかった業務を確認する	10		
3. 希望を満たしてくれるアウトソースを検討する	11		
4. 提案を積極的にしてくれるアウトソース先が望ましい	12		
5. 選び方一つで、社内SE活用の成否が分かれる	13		